



八鶴だより 7月号

令和元年7月1日発行

〒283-0802 東金市東金1410番地

☎0475-54-1581

発行 千葉県立東金高等学校 定時制 教務部

夕食
○ 有
△ 先
／ 無

1 「学校」!?

まもなく、1学期が終わります。みなさんにとって、「学校」とはどんな存在でしょうか？なぜ、「学校」が、われわれ人間の社会に誕生したのでしょうか？少し考えてみたいと思います。

社会階層の分化とともに、支配者である貴族階級は、奴隷の労働や農民たちの労働のうえに安住するようになり、もっぱら毎日の貴族生活を送るための教養、あるいはその社会的地位を飾るのにふさわしい教養を身につけることを求めました。自ら働かなくても生活できるようになりました。古代ギリシアのアテネ後期における貴族たちは、奴隷の労働によって生み出された「閑暇」（かんか/何もすることがないこと。）（skholギリシア語の閑暇という意味から、閑暇を利用して教養を身につける時間、教養を身につける場所と転じて、学校schoolの語源となりました。）を利用し、アテネ各地に設けられた学塾に通い、貴族的教養を豊かにすることにのめり込んでいきました。こうして、貴族の教養のための教育は、中世以後に、教会の付属学校や王家の宮廷学校などに受け継がれ、ルネサンス期には、古代ラテン語やギリシア語による人文主義教育を行う古典語学校がヨーロッパ各地に生まれ、全人的、調和的な教育を指向しました。これらが、学校の種類でいう、最高学府としての「大学」の基盤になりました。その教育内容は、文法・修辞学・論理学（弁証法）・算術・幾何・天文学・音楽などの自由七科としてまとめられ、これに宗教教育や身体教育などを加えることもありました。

また、哲学は、この自由七科の上位に位置し、自由七科を統治すると考えられていました。

ここで本校に話を戻してみたいと思います。みなさんは、「閑暇」な状況にあって本校で学んでいるわけではないと思います。ひとりひとりに「東金定時」を「学校」として選択した背景があると思います。決して「閑暇」だから本校に通学する生徒はいないと思います。迎える夏休みを有効に過ごし、2学期以降の学校生活に向けてよい準備ができる夏休みを過ごしてください。

哲学の目的は思考の論理的明晰化である。哲学は学説ではなく、活動である。哲学の本質は解明することにある。哲学の成果は「哲学的命題」ではない。諸命題の明確化である。思考は、そのままではいわば不透明でぼやけている。哲学はそれを明晰にし、限界をはっきりさせねばならない。（ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』より）

今月の行事予定

日	曜		夕食
1	月		○
2	火		○
3	水		○
4	木	期末考査①	△
5	金	期末考査②	△
6	土		／
7	日		／
8	月	期末考査③	△
9	火	期末考査④	△
10	水	答案返却①	△
11	木	答案返却②	△
12	金	総学	△
13	土		／
14	日		／
15	月	海の日	／
16	火	総学 S.C	△
17	水	成績会議 総学	△
18	木	全校集会	△
19	金	終業式	×
20	土		／
21	日		／
22	月	夏季休業(~9/1) 三者面談(~31日)[各教室]	／
23	火		／
24	水		／
25	木		／
26	金		／
27	土		／
28	日		／
29	月		／
30	火		／
31	水		／

2 今月の言葉

巖谷栽松

がんこくにまつをうえる

【出典】臨濟録（中国唐代の禅僧で臨濟宗開祖の臨濟義玄の言行をまとめた語録）

ある日、臨濟禅師が山奥に松を植えていると、師の黄檗禅師が不思議に思い聞いたのです。「なぜこんなところに松を植えているのか。」それに対し、臨濟禅師は答えます。「寺の景観のため、そして後世の人々のしるしとするためです。」松が成長するまでには時間が必要です。自分は今この世にはいないかもしれないが、それでも後世の人を思って植える。みなさんは、なぜ進路を考え、就職先や進学先を選ぶのか？10年、20年先、将来のあなたのためのしるしとなるような選択が、この夏、必要になると考えられます。

